



今月の話題：電通新入女子社員の過労自殺が大きく報道され、公的機関の調査も入った。詳しいことはまだ分らないが、問題は勤務時間の量ではなく、勤務環境のパワハラを含む精神構造ではないか。わが建設業界はどうか。1960年代は殆ど休みがなかった。私の経験でも会社のソファでしばしの仮眠をとりながらの徹夜が続いたこともあった。現在は大体、土日は休業のようであるが、それでも現場管理を志望する若者が少なくなっていると聞く。今や残業時間の短縮より、労働意欲を向上させる環境整備が求められているのではないか。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・第5回拡大理事会は、12月13日（火）16:00～、東京大学工学部、松村研究室で開催します。引き続き、18:30から、忘年会を『宮本』で準備しています。参加お申し込みは、事務局（大里）までお願いします。

□ 建築部会：(岡本 直 記)

・(1) 11月の建築部会は16日（水）に開催されました。
①国土交通省 住宅建築技術高度化・展開推進事業（海外・費用の1/2補助）に採択されたモンゴルの建物を対象とした耐震診断等による耐震安全性の向上及び省エネ対策の立案等について、11/2～11/9の期間でウランバートルにて調査を実施。ウランバートルは既に雪が降り、日中でも気温はマイナス、地域暖房を行う火力発電所の煙突からは大量の煙が立ち昇り、本格的な厳しい冬の到来が近いことを実感しました。調査対象となる建物の多くは、1970～1980年代にかけて、旧ソ連のプレファブシステムで建設されたWPC造の5階や9階などの集合住宅です。建設当初はあまり飾り気のない無機的な建築だったと思いますが、外断熱の機能を付加するなどの住環境の改善を重ねながら、今でもウランバートル市民の住宅として中核的な役割を担っています。（担当 松本年、安部、岡本）

②ソフトウェアハウス委託によるプログラムマニュアル和訳修正業務依頼はバージョンアップに伴う改訂作業を10/17～11/4に実施しました。また、クラウドベースの同システムの和訳改訂作業も10/21～10/31の間、並行して実施しました。（担当：泉清之）

③他部門との情報交流を目的に、今回は集合住宅部会の小畠部会長にご出席頂き、社会問題にもなっている団地再生について、集合住宅部会で取り組んでいる検討課題や海外の参考事例など幅広く興味深いお話を頂きました。また、松村先生が会長に就任された団地再生支援協会によるシンポジウム「サステナブル社会の団地再生まちづくり」が11/15に開催され、参加された安部さんから報告が行われました。

(2) 文京区から来年1月開催の耐震フェアにおいて、今年に引き続き、サーツでセミナーを企画、実施して欲しい旨の要望が寄せられ、現在、具体的な講演内容の検討を行っています。

(3) 12月の建築部会関連の予定は、通常日程と異なり次の日時に変更致します。ご了承ください。

・建築部会企画WGは休会、12/19（月）15時からサーツサロンのみの開催

○次回建築部会 12月19日（月）17:30～19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・今年度の戸建住宅部会状況は概ね計画通り進行していますが、来年度は従来の延長線で進展することは困難な状況と勘考され、部会として新たに取り組むべき課題について積極的に検討し実行したいと思っています。部会員の皆さんのが活発なご提案を期待しています。

○次回部会：今月に限り 12月6日（火）18時～20時
テーマは「来期の戸建部会事業計画検討」です

□ 集合住宅部会：(小畠晴治 記)

・第2稻毛ハイツの管理組合主催の勉強会（第3回目）が、12月17日（土）から3日連続で予定されますが、今回は、長期修繕計画と建物寿命の話がメインになります。この管理組合だけでなく、建替による団地再生が困難だと管理組合で結論を出した団地にあっても、かなり多くの住民が「老朽化」の不安を抱きながら、「改修やグレードアップに費用が掛かるなら建替の方がましだ」と早計な判断をしがちです。壁式構造中層住宅の耐震性は、新耐震基準よりも前の建物であっても、計算上ほぼ基準を満たしており、阪神大震災や東日本大震災などにおいての深刻な被害が無い点、また多くの専門家が構造体の耐用年数は100年程度あると考えている点などが、十分に伝わっていないことが、とても残念に感じられます。

○次回部会予定：1月中旬予定（日時未定）

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・**今月の話題：**11月20日（日）13:00～NPO 匠リニューアル技術支援協会設立15周年記念講演 田中享二 東工大教授 「風土と建築防水」を受講。ご近所のおばちゃんでもわかりやすい講演で、出席案内をいただいた鶴田さん共々、「次回寺子屋講師に、サーツ会員こそ受講対象者として相応しい」ということに。来年2月頃か？

◇11月度、マンション管理組合支援事業受託進展状況

- 1) 今期受託契約済5件（豊玉北、鶴沼、大森、清瀬、柏）
- 2) 11月度、下記3件新たに受託契約駆け込み締結。

（丸山事務所より）長計見直し業務、（K事業主より）建築・設備定期検査報告代行、特建報告代行業務、（O事業主より）練馬区賃貸マンションの調査～改修設計業務

今年もギリギリで決算できそうであるが、来期は繰越分50%新規受託50%をしたいものだ。

○次回部会予定：12月は休会 1月は未定

□建築技術誌 12月号（11月17日発売）サーツ欄記事

・坂本 功：私がきいた言葉

・丸山和郎：第3回寺子屋報告「超高層マンション大規模修繕工事（その1）仮設足場計画の重要性

□ 短信：年末年始により特段の部会活動はないと思われるでの、マンスリーレポートは休刊といたします。

□ 余滴：白き手がハクサイ漬けし甕残る 捷三郎